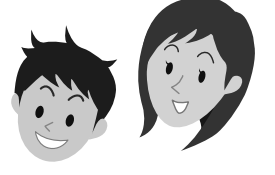




Windows編は、別紙「**A** かんたんセットアップガイド」をお読みください。

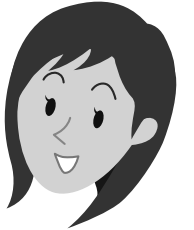


正しく設定できなかった場合は、別紙「**A** かんたんセットアップガイド」の3ページにある「こんなときには」をお読みください。

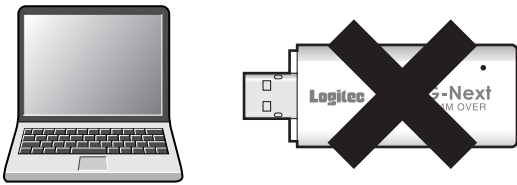
**STEP 1**

**ソフトウェアをインストールしましょう**

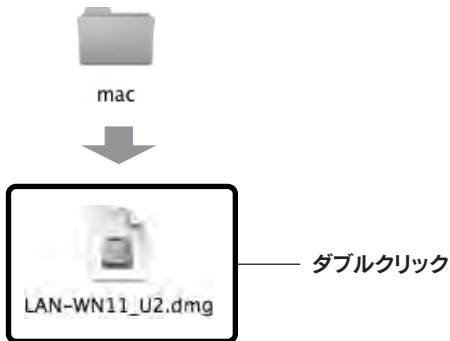
本製品を取り付ける前に、ドライバとユーティリティをインストールします。説明に従って進めるだけで、簡単にインストールできます。



本製品をまだ取り付けないでください!



- 1 本製品を使用するMacを起動し、付属のCD-ROMをMacのドライブに入れます。
- 2 マウントされたCD-ROMの内容を表示し、[Mac]フォルダにある「LAN-WN11\_U2.dmg」をダブルクリックします。



- 3 デスクトップ画面に「RTUSB\_Logitec\_Installer」がマウントされます。

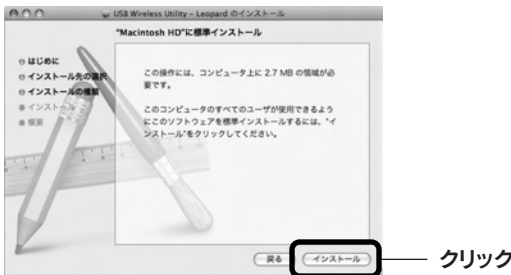


- Mac OS 10.4の場合→「USBWireless-10.4」をダブルクリックします。表示されたフォルダの「USBWireless-Tiger.pkg」をダブルクリックします。
- Mac OS 10.5の場合→「USBWireless-10.5」をダブルクリックします。表示されたフォルダの「USBWireless-Leopard.pkg」をダブルクリックします。

- 4 [続ける]をクリックします。



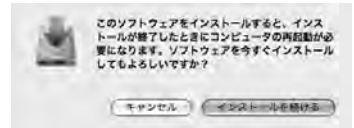
- 5 [インストール]をクリックします。



「名前」と「パスワード」の入力画面が表示された場合、現在ログイン中のアカウントの名前とパスワードを入力します。



下の画面が表示されたときは、[インストールを続ける]をクリックします。



- 6 [再起動]をクリックします。



- 7 これでソフトウェアのインストールは完了です。再起動後にCD-ROMをドライブから取り出し、「STEP2」へ進みます。

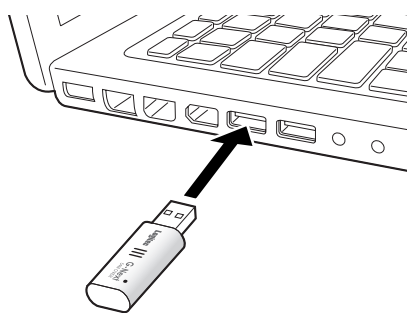
**STEP 2**

**本製品をパソコンに取り付けましょう**

本製品をMac本体のUSBポートに取り付けると、自動的に本製品のユーティリティが起動します。



- 1 Mac本体のUSBポートに本製品を差し込みます。



接続直後に以下の画面が表示されたとき



- ① [ネットワーク環境設定]をクリックします。
- ② [ネットワーク]画面で、そのまま[適用]をクリックします。
- ③ [ネットワーク]画面を閉じます。

- 2 自動的に「USB無線LANユーティリティ」が起動します。[高度な設定]タブをクリックします。



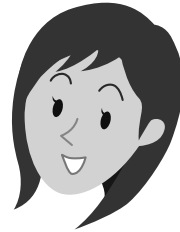
- USB無線LANユーティリティが起動しない場合は、アプリケーションフォルダ内にある「USBWirelessUtility」をダブルクリックします。

- 3 「STEP3」へ進みます。

## STEP 3

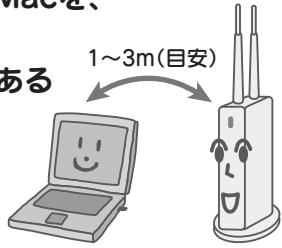
### 無線LANで接続しましょう

WPS機能を使って無線ルータや無線AP(以降、無線親機と呼びます)と無線LANで接続します。



**無線親機がWPSに対応していない場合**  
 手で無線LANへの接続設定をする必要があります。設定方法については、「手で無線LANに接続する場合」をお読みください。

**1** 本製品を接続したMacを、インターネットに接続可能な状態である無線親機の近くに置きます。



**2** 【サイトサーベイ】タブで接続先の無線親機のSSIDが表示されていることを確認し、【WPS】タブをクリックします。



※画面は例です。実際にご使用の環境の内容とは異なります。

●SSIDが表示されていない場合は、【検索】をクリックします。

**3** 無線親機に搭載されたWPS用の「設定ボタン」を、指定された時間だけ押しします。

- 指定された時間だけ押しします。

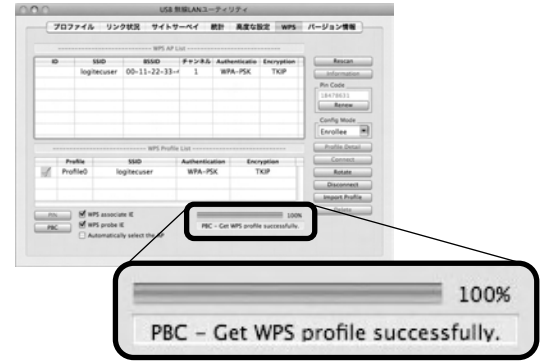
弊社製無線ルータ“LAN-WN22/R”の例



**4** 【PBC】をクリックします。



**5** 正しく接続できると、接続成功のメッセージが表示されます。



**!** 接続がうまくいかないとき  
 ●100%にならない場合は、手順**3**～**5**をくり返してください。  
 ●100%になっても無線通信できない場合、「WPS Profile List」にある接続先のSSID(弊社製無線ルータをご使用の場合は“logitecuser”)を選択し、画面右側の【Connect】をクリックしてください。

**6** これで無線親機との接続作業は完了です。

- [command]+[H]を押して、画面を隠します。

### 手で無線LANに接続する場合 (無線親機が「WPS機能」に対応していない場合)

**1** 接続先の無線親機の設定値を調べておきます。

設定名	項目名	無線親機の設定値
設定値A	SSID	
設定値B	認証方式	<input type="checkbox"/> オープン <input type="checkbox"/> シェアード <input type="checkbox"/> WPA-PSK <input type="checkbox"/> WPA2-PSK
設定値C	暗号化	<input type="checkbox"/> なし(データを暗号化しない) <input type="checkbox"/> WEP <input type="checkbox"/> TKIP <input type="checkbox"/> AES
設定値D	暗号キー名	(WEPの場合はキー番号= )

※ここにメモ書きした場合は、この説明書を他人に見られないように保管してください。

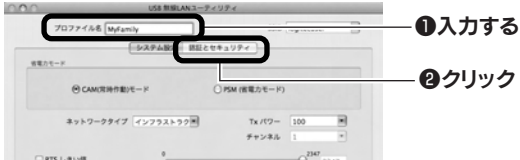
**2** 【サイトサーベイ】タブのリストに接続可能な無線親機の「SSID名」が表示されます。接続したいSSIDを選択し、【プロフィールを追加】をクリックします。



※リストに表示されている情報は例です。実際にご使用の環境で表示される内容とは異なります。

**!** SSIDの秘匿機能をご使用の場合「ブロードキャストSSID」「ステルスSSID」など、SSID名を設定ツールのリストに表示させない機能を使用している場合は、リストにSSID名が表示されません。この場合は以下の手順で接続する無線LANのSSIDなどを手動で入力してください。  
 ①【プロフィール】タブをクリックします。  
 ②【追加】ボタンをクリックします。  
 ③【SSID(あらかじめメモした設定値Aの内容)】を入力します。  
 ※SSIDは大文字と小文字が区別されます。  
 ④手順**3**へ進みます。

**3** 【プロフィール名】に任意の名前(例:MyFamilyなど)を入力します。



- セキュリティ設定をする場合は、【認証とセキュリティ】タブをクリックします。
- セキュリティ機能を設定していない場合は、手順**6**へ進みます。

**4** 【▼】をクリックし、「認証タイプ」と「暗号化」方式を選択します。



※画面はWPA-PSKにAESを選択した場合

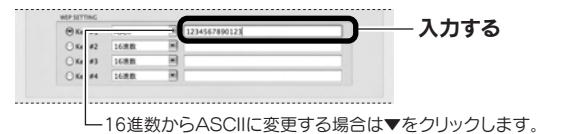
- 「認証タイプ」を、あらかじめメモした「設定値B」を参考にして選択します。
- 「暗号化」方式を、あらかじめメモした「設定値C」を参考にして選択します。

**5** 暗号キーを入力します。「認証タイプ」の選択内容によって暗号キーの設定項目が異なります。

- WPAタイプを選択した場合「WPAプレシェアードキー」に、あらかじめメモした「設定値D」の暗号キーを入力します。



- WEPタイプを選択した場合「WEP SETTING」に、あらかじめメモした「設定値D」の暗号キーを入力します。
- 暗号キーを入力するときは、右側の▼をクリックし、暗号キーの半角英数字(ASCII文字)もしくは16進数(Hexadecimal)を選択してから入力してください。
- 暗号キーを入力するKey番号(Key #1~#4)は、無線親機と同じにする必要があります。



**6** 設定が終われば【OK】をクリックします。プロフィール画面に接続先が登録されます。

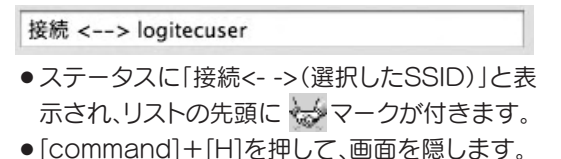


**7** 【プロフィール】タブで、登録したプロフィールを選択し、【有効化】をクリックします。



- プロフィール名の前に  マーク(グリーン)が付きます。

**8** 【サイトサーベイ】タブで正しく接続できたかを確認します。



- ステータスに「接続<-->(選択したSSID)」と表示され、リストの先頭に  マークが付きます。
- [command]+[H]を押して、画面を隠します。